

## 令和3年度上半期守山市地域包括支援センター事業実績について

### 1 「守山いきいきプラン2021」（第8期計画）において目指す地域包括ケアの深化

団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、高齢者の身近な地域における相談支援体制の充実を図るため、地域包括支援センターの機能強化に取り組んできました。

令和3年4月から南部、中部、北部のすべての日常生活圏域に地域包括支援センターを設置し、基幹型と圏域センターとが連携を図りながら各事業等の推進を図ることで、高齢者の介護予防、健康寿命の延伸に努めています。

【重点取組】（“守山いきいきプラン2021”）

- ◆ 地域に寄り添った地域包括支援センターの機能強化
- ◆ 誰もが参加しやすい介護予防の推進
- ◆ 地域全体で取り組む認知症「共生」・「予防」の推進

### 2 主要事業の推進（※★…重点的な取組） 別紙1参照

#### 【地域包括支援センターの運営】（圏域包括）

- (1) 総合相談支援業務 ★
- (2) 権利擁護業務
- (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務
- (4) 介護予防ケアマネジメント ※基幹型で実施

#### 【社会保障の充実分】（基幹型）

- (5) 在宅医療・介護連携推進事業
- (6) 認知症総合支援事業 ★
- (7) 地域ケア会議推進事業

#### 【介護予防・日常生活支援総合事業】（基幹型）

- (8) 一般介護予防事業 ★
- ※保健事業と介護予防の一体的実施を含む。

### 3 令和3年度上半期における課題

#### (1) 重層的支援体制の連携推進

令和3年度から重層的支援体制整備事業により、障害・困窮・ひきこもり等の複雑化・複合化した事案については、生活支援相談課と連携を図る中、関係機関との重層的な支援に取り組みました。

今後についても、関係者・関係機関と情報共有することで、高齢者の生活上の課題解決・権利擁護等について、適切な支援に努める必要があります。

#### (2) 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた事業等の実施

緊急事態宣言等の影響により、今年度上半期に予定していた事業の多くは、開催時期や開催方法、事業内容、参加人数の変更等がありました。上半期に開催できた事業の参加者からは、「参加できてよかった。」「皆で集まれて嬉しい。」との声もあり、下半期も引き続き、感染症対策に留意した運営を行っていく必要があります。

特に感染症が拡大した場合における高齢者の相談支援業務（見守り支援、生活状況の把握等）については、民生委員・児童委員、自治会等の地域支援者と連携を密に図り、適切な支援

を継続する必要があります。

### **(3) 高齢者のフレイル予防・介護予防の推進**

通いの場に参加される高齢者の中には、新型コロナウイルス感染症の影響により運動する機会が減った、人との関わりが減ったと答える人が多くおられます。高齢者の健康の維持・増進のため、感染症対策に配慮した通いの場の運営に加え、守山プラス体操（DVD、市公式Y o u T u b e）の周知啓発や屋外における運動やウォーキング等、自宅や少人数で取り組むことができるフレイル予防・介護予防の推進に努める必要があります。

### **(4) 高齢者の居場所・通いの場の再開に向けた支援の実施**

新型コロナウイルスの影響により、認知症カフェや百歳体操・のび体操等の自主グループが休止となり、高齢者の居場所や通いの場が減少しています。休止していた活動がスムーズに再開できるよう、通いの場における参加人数の把握や体調チェック（検温等）、手指のアルコール消毒、定期的な換気等適切な感染症予防に対する助言・指導を通じて高齢者が安心して参加できる通いの場の運営を支援していく必要があります。

## **4 今後の方向性**

地域包括支援センターおよび関係各課・関係機関が適切に連携を図ることで、複雑化・複合化した課題に対し、重層的な支援体制により適切できめ細やかな支援に努めます。

また、新型コロナウイルス感染症予防に留意し、地域支援者や関係者・関係機関と連携を図る中、支援が必要な高齢者へ迅速に支援を提供できるよう取り組みます。さらに、感染予防に配慮した介護予防教室の開催等により高齢者のフレイル予防の推進に努めます。